

地域社会とともに

Together with local community

「健康で豊かに暮らせる社会」の実現を目指して、未来を担う子どもたちの育成支援や、地域密着型の活動に取り組んでいます。

マネジメント・アプローチ

日本化薬グループは積極的に地域社会の活動に参加し、次世代を担う子どもたちの教育支援やステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを活発に行い地域に根付いた会社を目指しています。また、「生命と健康を守る」企業として「難病とたたかうお子さんと家族の手助けを」を合言葉にあすなろの家の活動を20年以上続けています。



① KSE(チェコ)従業員のピンクリボン活動 ② 福山工場の教育CSR活動 ③ 厚狭工場の教育CSR活動

健康で豊かに暮らせる社会づくり

KSM ピンクリボン活動

KSM*では、ピンクリボンキャンペーンを社内内で実施し、すべての従業員を対象に乳がんの早期発見の重要性、セルフチェックの方法などを教え、従業員たちの家族にもその情報を共有するように呼びかけました。

2018年は、赤十字(Cruz Roja Mexicana)から講師を招き、乳がんの早期発見の重要性やセルフチェックの方法、乳がんの特性を中心に、健康な生活を送ることの重要性について講義していただきました。また、講義だけでなく、実際にシリコンのサンプルを使って乳がんのセルフチェックの方法を学び、

従業員と講師の間で意見交換を通して乳がんについての知識を深めました。

※ KSM：メキシコにある自動車安全部品の製造会社



次世代育成支援

姫路工場 施設見学型「教育 CSR」

2016年の創立100周年記念事業から開始した「しゅわしゅわタブレット作り」と「工場見学」を姫路工場近隣の豊富小学校の6年生対象に実施しました。2018年度は4回目の開催となり24名が参加しました。

子どもたち全員が興味を持ち参加できるよう火薬に関する知識などをクイズ形式にしました。また、化学やモノづくりにも興味を持てるように姫路工場で製造しているガス発生剤を模した入浴剤の「しゅわしゅわタブレット作り」を行いました。

子どもたちの工場見学は製造ラインだけでなく、普段ではめったに体験できない「エアバッグ展開」を間近で観察して安全についての興味を持ってもらいました。



地域への取り組み

KSE セイフティ・デイズ

KSE*は、地元のVsetin市と共催で交通安全イベント「セイフティ・デイズ」を2018年5月14日～20日の7日間開催しました。セイフティ・デイズ期間中は、図書館での講演会や映画館でのショートムービー、子どもたちの創作コンテスト、ポンプ車の体験プログラムなどがありました。

KSEは、会場でチェコの国産車に搭載しているKSEの安全製品の展示や紹介、衝突時のシミュレーションなどに参加しました。

また、Vsetin市立警察から自転車の安全保護具や盗難防止に関する情報提供や赤十字協会から怪我をした際の処置対応の紹介もあり、特に人気を集めたのは、事故を起こした車体から搭乗者を救出するVsetin市消防団のデモンストレーションでした。

今後も地元と協力して地域住民の安全に貢献していきます。

※ KSE：Kayaku Safety Systems Europe a.s. チェコにある自動車安全部品の製造会社

